

“入院後の受診に関して・・・”

現在、人工関節の入院は、手術前日に入院して頂き、術後3週のリハビリ入院を基本としています。若く筋力のある方や早期から歩行能力を得ることが出来て、早期の退院を希望されている場合には術後2週程度での退院も可能です。

高齢者などで、筋力低下の著しい方などは術後4週程度のリハビリを行なう場合もあります。

退院後は、希望者には退院後1ヶ月程度、週に1回程度の外来リハビリを行なっています。

レントゲンチェックに関しては、術後3、6ヶ月、1年、1年半、2年を過ぎたら、年1回の外来通院をお願いしています。早期の異常を確認する為にも、定期検診は重要になります。



センター長の海外探訪記 “台湾の巻”

アジアには多くの親日国がありますが、その中でも台湾は最も親日的です。近いし、屋台の安いごはんもちゃんとした中華も美味しいので、是非お訪ねください！しかも、台北の動物園にはまだ子供のパンダがいます。

と言う私も、学生時代から何度も行こうと思いつつ、行く機会に恵まれませんでした。昨年9月に人工膝関節のセミナーへの参加を要請され、念願の初台湾訪問となりました。

パンダを見て、美味しい中華を食べて、紫禁城の博物館に行って・・・と言いたいところですが、ほぼホテルのセミナー会場に缶詰状態で、半時間ほどの空き時間にホテル横の101という高いビルの展望台に登っただけで観光は終わり…。でも、他の国から来たDr.や他病院からのDr.とのカンファレンスは勉強になりました。

次回はプライベートでゆっくり訪れたいと思います。



「ぶらな」

“人生を積極的に生きる人を応援する医療情報誌”

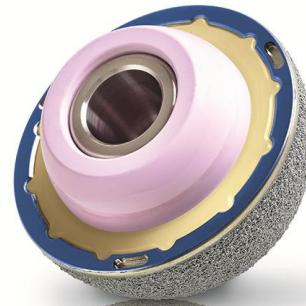
相原病院・人工関節センター新聞
第11号
2014年2月吉日

平成25年の人工関節全置換術の手術数は、股関節と膝関節を合わせて179例となりました。

我々は、「量よりも質」にこだわり、安全で的確な治療を常に心がけて診療にあたっておりますが、手術件数でも北摂のみならず近畿圏でも上位に入る手術件数を行なった事になります。今年も各患者の皆さんのそれぞれの関節にベストな治療を目指して頑張っております。



“人工関節の寿命は何年ですか??”



人工関節の材質やデザインなどは、まだ発展段階にあります。そのため、これからも人工関節の寿命は延びることが予想されますが、過去から現段階でのデータを解析すると、人工膝

関節で20年以上入れ替えせずに歩いている方が約8～9割、人工股関節で約9割以上とされています。

膝は軟骨の代りの材質がポリエチレンです。股関節もポリエチレンが中心ですが、セラミックとセラミックや金属同士の関節面を持つデザインもあります。このポリエチレンは約15年前に材質に大きな改良が施されましたが、それ以前のポリエチレンは擦り減るのが早く、ポリエチレンが擦り減って無くなったり、その擦り減ったポリエチレンの粒に対する免疫反応が起こり、人工関節周囲の骨を傷めて人工関節と骨の間でゆるみが起こり、入れ替えの手術が必要になっていましたので、その頃の寿命は10～15年と言われていました。

現在の材質は、それらの問題を克服するためにポリエチレンの強度を上げたり、抗酸化剤を入れたり、新しいセラミックを開発したり、人工関節その物のデザインを変えたりと発展を続け、多くの方々が一回の手術でほぼ一生持つ可能性が高くなりました。しかし、様々な理由で数%の方々には入れ替えの再手術が必要になる場合があります。その為にも術後の定期検診は重要になりますので、いくら調子が良くても、年に一回はレントゲンの確認に受診して頂いています。

近隣病院の人工関節手術数 (平成24年度)

病院名	症例数
相原病院(H25年度)	179
(H24年度)	172
(H23年度)	142
箕面市立病院	32
市立豊中病院	97
市立池田病院	95
国立刀根山病院	9
宝塚市立病院	36
大阪医科大学病院	109
済生会千里病院	85
北野病院	114
北大阪警察病院	36
済生会吹田病院	101



医療法人 啓明会
相原病院
Provides the best medical service

この新聞の名称「ぶらな」とは、仏教の元言語となるサンスクリット語で“空気”や“清浄な気”を示す言葉です。我々は、関節や脊椎疾患に負けずに積極的に人生を楽しんでいきたい！と考えている“強い気を持つている方々”を応援する為に、色々な形で情報を発信していこうと考えています。

こんな情報が欲しい、こんな事をして欲しいなど希望がありましたら、お気軽にファックスでお伝えください。

- 人工関節に特化した「人工関節センター」と乳がん診療に特化した「プレストセンター」を開設しており、より高度な専門医療を提供しております。
- 関節外来：岡 史朗 月・火・水曜午前9時から12時
- 関節外来：相原雅治 水・木・金曜午前9時から12時
- 脊椎外来：加藤泰司 隔週火曜 午後4時半から7時
- スポーツ外来：橋 優太 金曜 午後4時半から7時
- 理学療法士：岡本浩明・樋口慧・平田明日香
- 受付時間：平日午前9時～11時半、午後4時半～6時半 (水曜夜診休診)

土曜午前9時～11時半 (祝日休診)
相原病院・人工関節センター tel. 072-723-9000
箕面市牧落3-4-30 fax. 072-723-9052
ホームページ: <http://www.aiharahp.com/>

“私の初学会発表を日本股関節学会でしてきました！！”
看護部 上田 優貴 ・ 福田 暁子

H25年11月29・30日に第41回日本股関節学会に参加してきました。看護部門の発表は今回で3回目となりました。学会には全国から参加しており、普段病院ではみられない他施設の研究発表や看護の実際を知ることができるため、とても勉強になり、また新しい発見もあり楽しく、且つ良い刺激になりました。

今回私たちの研究は人工股関節全置換術を受けられた患者さまが術前にどれくらい痛みを感じておられるか、そしてどれくらい生活に支障をきたしているかのアンケートを取らせて頂き、手術後退院の目途がたった患者さまに退院後の生活に対しどのような事に不安を感じておられるかのアンケートも取らせて頂くことで、不安の起こり易いカテゴリー分けをすることができました。その結果入院時に退院後に感じるであろう不安内容の予測が可能となりました。

これから手術を受けられる患者さまの不安の軽減を測れるよう、今回の研究を活かして入院時より患者さまやご家族さまへの看護をさせていただきます。

学会での楽しみといえば、2年前の“おらな”でも書きましたが、いろんな地方に行けることです。今回は広島でしたので、広島風お好み焼き、しまなみ海道で食べた『伯方の塩』の塩ソフトはものすごく美味しかったですし、映画『崖の上のポニョ』や『ウルヴァリン』の舞台となった鞆の浦の温泉旅館で一泊したり、学会発表以外の楽しみも満喫した学会となりました。



「理学療法士人生初の学会発表！！」
リハビリ科 理学療法士 平田 明日香



臨床経験5年目にして初めて全国レベルの学会発表をさせて頂きました。第40回日本股関節学会にて演題発表するべく、約1年前よりテーマ決定・データ収集・データ解析などの準備を進めてきました。テーマ決めはすんなり決まらず、毎日毎日さまざまな文献を読む日々が続きましたが、なんとかぎりぎり出来上がり、発表当日を迎えました！！

初めての学会発表なので緊張しない訳はありません！私は緊張すると仏頂面になってしまうため、自分自身に「スマイル！スマイル(^_^)」と呪文のように唱えながら(笑)、壇上へ上がりました。壇上へ上がってからは過度に緊張することなく無事に発表を終えることができました。準備は大変でしたが、発表が終わってからは達成感でいっぱいでした！

この学会発表を通じいろいろな知見を勉強できたり、再学習することができました。また学会会場では大学時代の友人と再会し友人の発表を聴くことで、“負けてられない！”と仕事に対する意欲がより出てきました。

これからも精進し、日々の臨床に活かせるよう努力して参りますので宜しくお願いいたします！！

